



# やのまひか

例会日：毎週火曜日 12：30 例会場：豊川商工会議所  
 会長：山本章吾 幹事：金田柁宏 SAA：山田久就 会報委員長：笠原盛泰  
 事務局：豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 0533-86-2535 Fax0533-86-8889  
 ホームページ <http://toyokawahoi.tank.jp> Email [hoirc@sala.or.jp](mailto:hoirc@sala.or.jp)

本年度 25回 通算第 1004回 平成 19年 1月 9日 (火) 晴

ゲスト 愛知県立豊川工業高等学校陸上部監督 渡辺正昭さん  
 ビジター (なし)  
 出席報告 高木修委員長

| 会員総数 | 計算会員数 | 本日の出席者数 | 本日の出席率 | 12 / 19 修正出席率 |
|------|-------|---------|--------|---------------|
| 56名  | 50名   | 34名     | 64%    | 100%          |

司会進行 山田久就 SAA

## 会長の挨拶及び報告 山本章吾会長



明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願いします。昨年7月にクラブ方針として

「心と心・同志的結合」を掲げ、そのテーマのもとで親睦と奉仕活動を進めてまいりました。上半期はご支援頂きまして誠にありがとうございました。今日の本来のプログラムですと下半期の活動についてということでしたが、昨年の暮れに、京都で全国駅伝大会に出場した豊川工業高校の渡辺監督さんに来て頂きお話を頂く事になりましたので簡単に下半期の活動についてお話をさせていただきます。

クラブテーマに基づきまして、下半期も親睦活動と地域社会への奉仕活動をより強化すべく計画を立てて頂きまして、地域社会の生活の向上と発展のために我々クラブがどのようなことが出来るか模索をして頂き、重点目標の一つの長期計画の策定を掲げていますが、豊川宝飯ロータリークラブの伝統を引き継ぎながら、より結束力と連帯感を強めるために、なにかクラブ全体で持続のある長期計画の策定をしていく必要があると思います。何かとご支援とご協力を賜りたいと思っております。

さて今日は、渡辺監督にお越し頂いております。全国大会に9年間連続出場という輝かしい実績をあげられているわけです。特に昨年の大会においては、市民の大多数の方が「優勝」という二文字を期待していたと思います。当クラブの夏目雅康会員が応援する会の会長でもありますので、私も当日は京都に出掛けました。できれば中継所を見たいと思い、2区と3区の中継所に行きました。当初、上位に豊川工業の姿を見ませんでしたので心配をしておりました。そこから西京極の陸上競技場へ行きましたら、夏目会長も少し深刻な顔をしておりまして、最後に競技場に入ってくる時には3位で来ましたので、ほっとした夏目会長の顔を見ました。前年に引き続いたの3位で、留学生を除けば、実質優勝だと思えます。大変感激をしました。この成果は、渡辺監督の指導の賜物だと思えます。今後の活躍を期待しながら、後ほどお話を伺いたいと思えます。

報告事項として、1月7日に豊川市の消防出初式に出席して参りました。ご存知のように雪の吹雪く大変厳しい寒さのなかでの開催でした。寒さに1時間耐えながら、地域の安全を守る消防隊の出初式を見て参りました。

## 幹事報告 金田柁宏幹事

ウィークリー：渥美・豊橋南・蒲郡RC  
 次回例会について

## 外部講師の卓話

### 「全国駅伝競走大会出場の報告」

#### 豊川工業高校陸上部監督 渡辺正昭氏

皆様、明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。ありがとうございました。今年もどうかよろしく願います。

昨年暮れに京都で行われました全国高校駅伝には、こちらのクラブの皆様方にも多大なご支援を頂きまして誠にありがとうございました。お陰様で男子全国第3位という結果を出すことができました。ありがとうございました。今年は、こちらに第3位の賞状を持って参りました。それとこちらが第3位の銅メダルになります。これは生徒たちが取ったものですので、先ほど生徒に断って持って参りました。



目標は、全国大会でなんとか優勝争いをしたい。一昨年の全国大会におきまして一位になった仙台育英高校の後ろ 10 秒まで迫ることができました。それから1年間、生徒たちと何とか先頭争いを一度してみよう、その先はまだわかりませんが、先頭に立って先頭争いをすることで、また違った世界が見えてくるんじゃないか。そのような目標を立ててやって参りましたが、なかなか力不足のところもありまして、終わってみれば第3位という結果になりました。

目標としていた展開は、1区で10番前後のいい位置につけて、中盤から後半上がっていく、特に中盤の3区4区で先頭に追いついて、一歩でも前に出て、そこから5区6区7区で先頭争いをしていこう、そういうイメージで大会に臨みました。生徒たちも充分わかって

くれていたと思います。スタートして1区から順調に上がってきました。2区で7人抜いて前に上がってきました、さあ3区4区このところで先頭争いまで行けるか、そういう思いで見えていたのです。ちょうど映像を見ていた時に、隣に兵庫県の中学校の先生がみえました。この方は退職された方らしいのですが、毎年京都に来ていて27回ここにきていると言われていました。その先生と話をしながら、ここから上がっていくと思います。3区4区で先頭争いをしようという話をしていましたら、している自分がその時“はっ”と気がつきました。だいが無理な注文をしているな、生徒にこの3区と4区に相当無理な注文を出していたということに気がつきました。もう気がついた時には手遅れだったんです。その先生が私に言ってくれた言葉は「西脇工業の渡辺先生はそういう言い方はしないな。」もうズキッと来ました。しまった、申し訳ないことをした。「西脇工業の渡辺先生はな、優勝という言葉は一言も出さんぞ。ええか、全国のみなんと、みんなの胸を借りて走って来い、お前たちは力が無いんだから、ひとりひとり繋いで7人で勝負して来い」そのような話をされるそうです。それは私も以前から聞いていましたけど、やはり知らず知らずのうちに、さあここで優勝争いだ、去年10秒差まで行ったんだ、そんなことを子ども達に言ってしまっていた。もう一つは、後半の5区6区7区、このところに多少不安があったものですから、不安があるということは、その子たちを信用してしなかったということです。3区4区で前に出ないとその後はどうなるかわからない、そんな不安が自分の中にあっただと思います。ですから3区4区にだいが負担を掛けてしまった、こちらが期待を掛け過ぎてしまった。その結果、3区で力んで、4区も力んで、追い上げて来ましたが、結局、のびのび走ってくれたのは5区6区7区、3区4区には本当に申し訳ないなと思いました。終わってゴールしてからテントに行って、生徒たちに話をした時には、もう涙が出てきて止まりませんでした。申し訳ない、俺の責任だ、それだけの期待を掛け過ぎてしまった、知らないうちに子ども達に、お前たちが何とかしないといけないぞって一部の子に期待を掛け過ぎてしまいました。1区の子が泣きながら「すみませんでした」と言っていました。でもあれは仕方ないのです、留学生が飛び出

していったら、誰かが日本人集団を引っ張らないとどんどん離されます。だから引っ張り損、「仕方ないお前はあの走りがいい」って言うている自分もどんどん涙が出てきました。いろんな面で勉強させて頂いた大会だったなと思います。何よりも自分自身が修行不足であった、勉強不足であった、器が小さかった、ということだと思います。そのあたりを今後に向けて更に修行を積んで勉強して全国大会に臨みたいと思っております。



全国大会が終わりまして、すぐ愛知県の都道府県の合宿に行きまして、年明けてからは兵庫県の西脇工業高校の合宿に行って参りました。昨日夜帰ってきました。そこで駅伝の初心を思い出そう、駅伝というものはどういうものか、高校生として競技者として基本的なことを学んでこよう、毎年そうやって駅伝の聖地のような西脇市に合宿に行っています。そこで学んでくることは、基本的な生活習慣、当たり前なことなんです、高校生として、それから競技をやっている者として、もっと人間としての基本的な生活習慣、これを学んで参ります。これが成長していく、強くなっていくために一番大事だということを我々は充分わかっておりますし、その合宿に集まってくる監督さん生徒たちは同じ共通した考えのもとで、そこへ集まって参ります。生活、食事から、お風呂から、掃除から、すべて自分たちで進めて行きます。本当にテキパキ、大きな声で挨拶もするし、掃除もきちっと隅々までやるし、本当に我々が見ても気持ちいいような、修行をしているような、そんな合宿に行って参りました。そちらの合宿の中で西脇工業の渡辺先生からもいろいろとお話を頂いて、最後には「日本人のチームでこれだけやっているのは、お前のところだ、実質日本一だ」すぐ後ろが西脇工業だったの

です。我々が3番で西脇工業が4番でしたが「お前のところが実質日本一だ」とお褒めの言葉を頂きました。こんなことは今まで一度もなかったです。いつもお前はだめだ、お前はだめだ、生徒は良いけどお前はだめだと言われてきましたし、自分もそのように思っていますけど、最後にはお褒めの言葉を頂きました。

その合宿の中で特に話題に出たことは、今、日本の高校生もちろん小学生中学生もそうですが、基本的な生活習慣や常識がずれてきている。駅伝と離れた話かもしれませんが、今の世の中ちょっと狂っているんだ、おかしい、小学校でも中学校でも嫌いなものを食べなくてもいい、好きなことをやって嫌いなことをやらなくてもいい、そんな指導を受けてきて、じゃあ高校で、これきちっとやりましょう、あれやりましょう、守れるわけがない、じゃあ社会に出たらどうだ、好きなことをやるけど、嫌なことをやらない、我慢ができない、辛抱ができない、これでは我々教育しているものとして一番大事なことが伝わらない。伝えようと思えば親からいろいろと言われる。小中高の先生たちは、やはりそこで少しずつ腰が引けていって生徒と対応せざるを得ない、これではだめだという話になりました。その中で、じゃあ我々はどうすればいいんだ。スポーツというものは、ルールの上に成り立っています。スポーツを通じて子ども達に基本的なこと、大事なこと、辛抱して努力したらこのような結果がでる。生活習慣、基本的な部分をきちっと覚える。スリッパ揃えて、掃除をして、きちっと挨拶をして、それを伝えていくことが我々の役目ではないかと夜な夜なそんな話し合いをしていました。こんな技術、こんな練習があるぞ、こんな方法がある、こんな物食べると強くなるぞ、そんなの一切ありません。我々の合宿はそんな合宿です。西脇の合宿はそんな合宿です。強くなるための技術、テクニック、そんなものは必要ない。人間として成長して高校生として育ってきたら駅伝でも力が出るんだ、そういう考えでやっております。ですから、もっぱら話題はそんなことが多かったです。私自身もそんなことをずっと考えておりまして、我々が担当しているのは高校生でありまして、地元の高校生も含めて小学生、中学生、これらは後輩です。私もこの東三河の出身ですから、こちらの子どもたちはみんな後輩になります。

その後輩たちに何を伝えていくのか、我々が出来ることは、私が出来ることは、スポーツを通じて、駅伝や陸上競技を通じて、子ども達に大切な部分をやればできるんだ、努力していくことが大事だ、基本的な生活習慣も礼儀も、そのようなところを伝えていくのが役目だと常々思って参りましたので、今回の西脇工業の合宿でも大変勉強させて頂きました。

以前よりずっと考えていたことですが、我々高校生のチームが全国大会へ行って活躍をする。それはそれで非常に大事なことだと思います。子ども達もその結果、自信をつけて立派な大人になって参りますけれども、子ども達にもう一つ頼んでいること、要求していることは、お前たちが後輩たちの見本になってくれ。小学生中学生に憧れをもってもらうように、ただ走るのが速い強いそれだけじゃ誰も尊敬してくれないし憧れてくれないよ、高校生として競技者として後輩たちから憧れてもらえるように、そんな存在であるようにと子ども達にずっと言って参りました。まだまだ結果は出ていませんが、それでも子ども達なりに心身ともに成長して努力してくれています。それが小学生や中学生に是非伝わって欲しいなと思っています。子ども達に伝えていく一つの方法として、ずっと考えているのですが、豊川の競技場があそこが公認の競技場になって、記録会や大会が開けるようになって、そこで小学生、中学生、高校生、もちろん大学生や一般企業の人たちみんな集まって競技会ができる。そこで小学生中学生が、全国レベルの高校生、オリンピックに出て行くような企業の選手たち、箱根駅伝を走った大学生、そういう人たちを見て憧れをもってほしいな。その結果、小学生や中学生が、僕もこうやってスポーツに取り組んでみよう、努力してみよう、中には走ることで生きがいを感じて毎日朝早く起きて走ってみよう、そういう子が出てくると思うのです。子ども達に、そういう本物の刺激を与えたい。私は家が新城なものですから、小さい頃は毎年3月末になると八名井の道路に出て行って中日マラソンをいつも見ていました。当時は宗兄弟や伊藤国光さん、瀬古利彦さんが走っていました。本当にぶつかりそうなところで見ていました。今はそれだけの選手は走らなくなってきていますが、やはり本物が見たい、見せてあげたい気持ちが非常に強いです。我々は全国大会に行きますので、西脇工業などの全

国大会上位に入ってくる学校は、みんなきちっとしています。正直きちっとしていない学校もあります。ありますが我々が一緒にやっているチームは本当に素晴らしい高校生ばかりです。こんなにたくさん素晴らしい高校生がいるんだよ、こういう気持ちでやっているから全国大会の上位でタスキを繋いでいけるんだよ、勿論ちょっと特別なやり方で強くするという方法もあるかもしれませんが、そうではなくて地道にコツコツ積み重ねて、そして全国大会で結果を出しているそういう高校生たちを皆さん見て下さい。小学生、中学生見て下さい。そういう場を作りたいなと思っています。うちの息子が今中学1年生でバスケットをやっています、オーエスジーのクリニックへ毎週水曜日に小学生の頃から行っていました。もう一時間前から着替えてボールをもって準備をしている訳です。本当に楽しみにしていて、フェニックスの選手たちとハイタッチするのが楽しく楽しくてしょうがないって言っていました。バスケットは、そういう本物を見る場面が子ども達にあるわけですね。陸上競技だとまだまだこのあたりには無いです。ただ高校生は全国レベルの子達が揃ってきていますので、その子達が一緒に走る大会、小学生中学生の子が憧れをもってくれる大会というものを開きたいなと思っています。高校生なら全国高校駅伝を走った子たち、それから本校の生徒も含めて箱根駅伝を走っている子たちをたくさん知っています。来て走ってくれないかと言えば、100人200人そんなにいないですかね、50人60人それぐらい来て走ってくれると思います。実業団にいて頑張ってくれている子もいますし、企業の実業団の監督さんたちも、豊川工業それから豊川という地を注目して下さっています。私もまだまだ若いつもりではいいますが、これから先どれくらい全国の頂点目指して続けていけるかというところも難しいところもあるかなと思います。ずっとその気持ちでいるのですが、やはり地元の小学生中学生が憧れをもって目標をもってやってくれたら、また違ったチームになってくるだろうし、一段と強いチームになってくるんじゃないかと思っています。先日1月の2、3、4日、長野県の都道府県女子駅伝の選抜チームが豊川で合宿をしてくれました。そこの監督が知り合いの方で、長野県は雪で寒くて走れないから暖かいところでやらしてくれということで昨年

から豊川でやってくれています。ちかくのホテルに泊まって、豊川の競技場やうちのグラウンドを使って合宿をしてくれています。暖かいなあ、いい環境だなあ、ジャージを脱いで短パンで走るなんて久しぶりだ、本当に喜んで帰って下さいます。ただ帰り際にポロツと言われるのは、「この競技場もったいないなあ。土で未公認。ここで大会ができないもったいないなあ」って言われて帰っていかれます。我々の役割としては、自分の学校の自分の生徒を伸ばしていればそれで良いのかもしれません。学校名が有名になって、その結果、地域の皆さんが喜んで下さる。それだけで良いのかもしれません。ただ僕自身、小さい頃からいろんな方にお世話になって、刺激を受けて、こういう世界に入ってきて、いま全国の場で色々な経験をさせて頂いています。この地元の子どもたちにも、そういう体験をたくさんして欲しい。確かに東京や大阪や名古屋に出て行けば多少はそういう刺激があるのかもしれません。でも出て行けない子もたくさんいます。是非、地元で全国レベルの大会をやったり、そういう子たちが集まってくる場面を子ども達に見てもらって、活気のある豊川市にしたいなと思っています。これはあくまでも私の個人的な考えや夢ではありますが、それでもスポーツを通じて、どのスポーツでも同じだと思いますが、スポーツを通じて子どもたちが、僕もやればできた、私も頑張ったらこういうふうになれた、という体験をたくさんして欲しい、その環境、そういうものを作っていくのは我々の役割かなと思っています。

今年も新チームとしてスタートしております。子どもたちは、また来年度、今度の12月の全国大会で優勝争いをしようという気持ちでスタートしております。でもスタート時点で一番大切にしているところは、基本的な生活習慣、心構えというところです。そこを見直して、そして一年間また努力をしていきたいと思っています。

それから、今年は豊川地区、豊川東部中学校の力が充実してきています。豊川東部中学校は女子が強いです。ぜひ全国大会に出て欲しいな、そのために色々な場面で練習会や合宿なんかもやりたいなと思っています。南部中学校も男子が強いですね。久しぶりです。以前は中学校がまったく県大会に出れないという状況がありましたけれども、ここ1、2年、

若い指導者が頑張ってくれています。全国大会がだいぶ近づいて来ております。ですので、我々のやれる部分は少ないと思いますが、小学生や中学生、いろんな方たちに少しでも刺激を与えられるように努力していきたいと思っています。ことしも一年間頑張っていきたいと思っていますので、ご声援よろしく申し上げます。どうもありがとうございました。

## 御礼のことば

山本章吾会長

どうも、渡辺監督さんありがとうございました。ただ今の講演を聞きまして、青少年健全育成にスポーツが非常に役に立っているなと思いました。私も豊川宝飯ロータリークラブが、こうしたスポーツを通じた青少年の健全育成や地域の活性化、そうしたものが何か本年度の方針の持続性のある長期プロジェクトとしてできればいいなと思っています。今後とも渡辺監督さんを含めた皆様方のお知恵を頂いて、そういった目標を我々のクラブが持っても良いのではないかと思います。

そして今年は、ぜひ優勝を目指して成果を上げて頂きたいと思います。本日はお忙しいところ誠にありがとうございました。



## ニコニコボックス

岩瀬靖宏会員 入会記念日を祝って頂き  
鈴木信哉会員 //

誕生日祝い

近藤元重会員

伊原良碩会員幸子夫人

縦山修一会員晶子夫人

青木恒義会員叔子夫人

浅野 桂会員

大沢茂樹会員桂子夫人

度会尚志会員秀子夫人

波多野四郎会員

浅野 桂会員幹子夫人

結婚記念日祝い

高木 修会員ご夫妻

後藤文良会員ご夫妻

伴 辰三会員ご夫妻

事業所創業祝い

山田久就会員 島田商会

山城康司会員 (有)山城康司保険事務所

入会記念日祝い

浅野 桂会員

岩瀬靖宏会員

種井映二会員

鈴木信哉会員

その他

山本章吾会員 下半期もよろしく

青木恒義会員 創立記念日例会ありがとう

磯 隆俊会員 //

岩瀬 保会員 //

大岩一仁会員 //

大沢茂樹会員 //

近藤哲司会員 //

柴田 勝会員 //

内藤泰通会員 //

波多野四郎会員 //

伴 辰三会員 //

小野喜明会員 音楽協会PRありがとう

夏目雅康会員 駅伝3位入賞ありがとう

滝下 勲会員 //

柴田浩志会員 //

林 博宣会員 //

度会尚志会員 誕生日を祝って頂き

波多野四郎会員 //

安藤佳和会員 //

高木 修会員 結婚記念日を祝って頂き

伴 辰三会員 //

後藤文良会員 //

山田久就会員 事業所創業を祝って頂き

山城康司会員 //

次回例会のお知らせ

と き 1月23日(火) 12:30~

と ころ 豊川閣妙巖寺

内 容 はつもうで例会

会報担当者：笠原盛泰会員

このウィークリーは再生紙を使用しています。